

省エネ型化学品製造プロセス技術の開発事業

平成30年度予算額 **20.0億円 (21.0億円)**

事業の内容

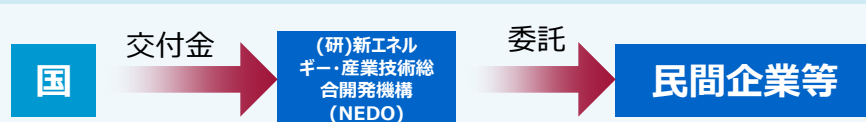
事業目的・概要

- 身の回りにある製品の原料等を製造する化学産業は我が国最大のエネルギー多消費産業であり、CO₂排出量は鉄鋼業に次ぐ産業部門第2位（我が国の全排出量の約6%）です。
- 本事業では、我が国が国際的に強みを有する触媒技術を活用することで、世界に先駆けて革新的な省エネ型の化学品製造プロセス技術を開発し、資源利用の高度化を図るとともに製造プロセスのエネルギー消費量削減を目指します。
- 具体的には、①二酸化炭素と水を原料に太陽エネルギーでプラスチック原料等の基幹化学品を製造する省エネ型製造プロセス、②砂から有機ケイ素原料を直接合成し、同原料から次世代LED封止材等の高機能有機ケイ素部材を製造する省エネ型製造プロセス、③非可食性バイオマス原料からコスト競争力のあるエンジニアリングプラスチック等の最終化学品までの一気通貫の省エネ型製造プロセス、に関する技術の開発に取り組みます。

成果目標

- 平成25年度から平成33年度までの9年間の事業であり、本事業を通じて、化学品製造に関するプロセスの省エネ化を図り、平成42年度において約1,065万t/年のCO₂削減を目指します。

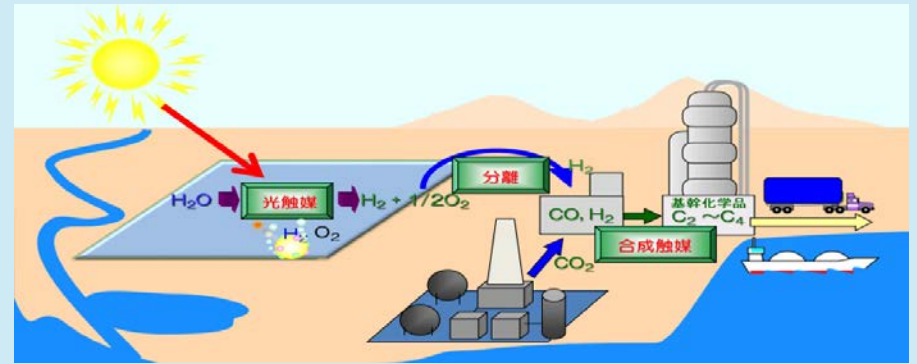
条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

①人工光合成PJ（プロジェクト）

二酸化炭素と水を原料とし、太陽エネルギーを用いてプラスチック原料等の基幹化学品を製造



②有機ケイ素PJ

砂から有機ケイ素原料の直接合成、同原料から高機能有機ケイ素部材を製造



③非可食性バイオマスPJ

非可食性バイオマス原料から最終化学品を一気通貫で製造

